

大空に翔る

女性指導者の活動風景



八幡女子バレーボールスポーツ少年団



檜引町体操スポーツ少年団



東根市マドンナスポーツ少年団



小国バレーボールスポーツ少年団

終りに、日頃から多岐にわたり、適切な指導をいただいておりますこと心からお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご尽力をお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

ところで、最近良く耳にする言葉に「楽しいスポーツ」というのがあります。みなさんは、この楽しいスポーツをどのよう解釈されるでしょうか。抽象的で曖昧さがありますが、もっとも肝要な事は、子供達に、意欲を持たせ、生涯に亘ってスポーツを継続実践する心を育てることであろうと私は考えます。どうか、甘やかすことなく魅力ある団づくりを期待いたします。

目指さなければと思っております。

一年が過ぎました。早いものでまた、一年が過ぎました。各団におかれましては、ますます充実した楽しい活動の事とお慶び申し上げます。不安と期待の中で迎えた学校週五日制も一年になるうとしています。一層意義ある地域活動を背景に、これまで減少気味だった団員登録数が増加してきました。この事は大きな喜びであります。と同時に、この大きな期待に添えるよう、そして地域から信頼されるスポーツ少年団を目指さなければと思っております。



山形県スポーツ少年団
本部長 原田 薫

いあいさつ

特

集

学校週五日制がスタートして

学校週五日制の趣旨が

生かされているか

山形県スポーツ少年団 副本部長

安部 新一



平成八年
七月に中央
教育審議会
が提案した
二十一世
紀を展望し

たわが国の教育の在り方について「の第一次答申に基づき、子どもたちの個性を尊重し、ゆとりの中で自ら学び、考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むことが、今もつとも重要な課題であるとの認識にたつて、学校週五日制が実施されて既に半年が経過した。

学校では、五日制導入の趣旨に基づき、子どもたちの自主的な活動の時間を確保するために、運動部の部活動を原則として月曜日から金曜日までとした。また、地域では公民館や子ども会活動、各種

スポーツ活動など様々な分野に子どもたちが参画できる態勢を概ね整えつつある。一方、子どもたちを取り巻く家庭環境はとなると、大人の社会が五日制にまだ同調していないところもあつて容易に把握できない不透明さがある。つまり、それぞれの家庭において親の意向が子どもたちにどのように反映されているのか判断に苦しむ行動も目につくようになった。

過日実施した恒例の市内の小・中・高校の校長と体育協会との懇談会では、中・高の部活動については、ほとんど従来と変わらず、小学校においては、多少スポーツ活動に上向きの傾向は見られるが、稽古ごとや塾、特に英語塾等にその傾向が強いという報告があつた。はたして、子どもたちが自分で裁量できる時間は確保されているのか。

植物が自ら水や養分を求めて土中深く根を張るように、子どもたちが様々な厳しい条件の中でも逞しく生き抜く力をこの時期に助長しなければなりません。そのため子どもたちに自ら考え、自ら行

スポ少に期待すること

酒田市PTA連合会

会長 阿部 良雄



いつもスポーツ少年団の子供達のために、ご指導ご支援をいただきます。

動できるような基本的な姿勢と自覚を持たせることが必要であり、家庭と学校と地域が力を合わせて、子どもたちの週休二日の有効な活動を支える基盤を作ることがいまだ切なのではないだろうか。

と保護者の方々です。これこそ一番のボランティアだと言えましよう。学校のシステムが変わつても、子供達に対する保護者の役割は何ら代わつておりません。小学生にとつては、スポーツ少年団が唯一運動のできる活動の場であり、子供たち同志の交流の図れるところであります。また、学校の違う子供たちが一緒に先輩・後輩の関係の中で技術、競争心、チームワークを覚えるところでもあります。ここで初めて親ではない大人から練習を教へてもらふ訳です。子供達にとつては、相当緊張することでしょう。コーチのアドバイスにも敏感に反応することでしょう。一生懸命練習することによって、技術を高め自分たちの目標に近づき夢を実現させることができると。そして、勝利した時の喜び、負けた時の悔しさをみんなを感じ次の目標を見つけ、またそれに向かつていく事を覚えるでしょう。私が小学生のときに、スキースポーツ少年団が結成されました。毎週日曜日には、朝早くからス

き誠にありがとうございます。今年から学校週五日制が実施となりました。いよいよ、地域活動が重要になります。このことは指導に携わっている保護者の方々に、今まで以上に大きな負担となる訳です。そして、スポーツ少年団の活動を支えているのは指導者

学校週五日制に思う

沼田バドミントンスポーツ少年団

代表 菅原 秀



学校週五日制は、主として学校に関する改革ですが家

庭や地域のあり方も考えなくてはならない問題です。

学校から地域や家庭に子供たちを帰そうという教育改革は、スポーツ少年団指導者にとって無関心ではいられません。

スポーツ少年団の活動は、すでに地域における青少年の育成に大きな貢献をできています。

スポーツ活動(練習、大会参加)だけでなく、地域のクリーン活動などの奉仕活動、あるいは文化的な活動等に他団体に先駆けて取り組んでいます。この様な取り組みは、スポーツ少年団の活動理念に基づいて行われている事と思えます。

〔スポーツ少年団活動理念〕

- ① 自主的で、自発的な活動であること。
- ② 真剣さ、厳しさは指導者、団員が目指すものであって親や、マスコミ等から強制されるものではないこと。
- ③ 個人的にも、集団的にも歓びにあふれたものであること。
- ④ 生涯にわたり続けていくであろう、スポーツの基礎をつくる活動であること。
- ⑤ 身体的、精神的に無理がなく、意欲をもって参加できる活動で

あること。
⑥ 活動地域における社会奉仕的活動が含まれていること。

私達の沼田バドミントンスポーツ少年団も同様な活動を実施しています。練習日は以前から土曜日午後より日曜日午前中と休みに関係なく練習をやってきました。

通常通りの練習計画で、これといった不便は感じませんが、今後とも、益々地域に対してのボランティア活動に邁進していきたいと思えます。学校週五日制の制度を有効に活用し、今後の競技力向上と人間形成に役立てたいと思えます。

今、学力としての体力を

山形市教育委員会体育振興課
指導主事 齋藤英敏



今、学校、家庭・地域が一体となつた教育が求められている。

よって、本稿では筆者が日ごろ深く関わっている学校体育の現状を明らかにすることを通して、今後

のスポーツ少年団への期待と方向性を探ってみよう。

今年度、完全学校週五日制に伴い、小・中学校においては、新学習指導要領による教育課程がスタートした。このたびの改革によって、教科体育は、年間百五時間の授業時数が九十時間に減るという厳しい現実と直面している。

体育・スポーツに携わる者にとって、大きな危機感を抱かざるを得ない時代が到来したのである。一方、子どもの体力・運動能力の低下が叫ばれて久しい。さらに、運動を好む子どもと好まない子ども、運動を積極的に行う子どもと行わない子どもの二極化現象が、近年の問題として浮かび上がっている。

このような現象を踏まえると、

生きる力の基礎である体力を育てるための取り組みが急務である。この認識にまず立つ必要がある。そのうえで、学校内外を問わず、子どもの教育に携わるすべての大人が子どもの体力を学力として捉えて育成に努めることが大切であると思う。進学に係る受験学力同様の関心を払わなければならない。子どものスポーツ活動の場としてもっとも身近な存在であるスポーツ少年団へのニーズは益々高まることは確実である。これから

は、学力としての体力を保証するスポーツ少年団が求められる時代であると思う。子どもの発達段階に応じた最適な運動の量と質、すべての子どもに成就感を味わわせ個人差への対応等を吟味した指導を一層期待したい。

地域に期待される

スポーツ少年団とは

豊福教育事務所社会体育主事
新藤伸之



学校五日制がスタートし、各地域での総合的な学習活動など、家庭と学校と地域が力を合わせた活動や取り組みが展開されています。

「生きる力」を育むには願ってもないチャンスではありますが、半年が経過した今、一部のスポーツ少年団に対して依然として「スポーツ活動のため、地域活動に参加してくれない」とか「練習や試合の時間が増えただけで何も変わらな

る」あるいは「毎回子供達が楽しみにしている」などのすばらしい評価もあります。

スポーツ少年団活動が青少年スポーツの振興のみならず、地域全体の活性化を担うものであることは言うまでもありません。これまで四十年にわたり地域における青少年の健全育成に多大な貢献をしてきました。その「みんなのスポーツ・みんなのスポ少」という特性をふまえ、今後更に地域から期待されるスポ少になるために、育成

母集団との緊密な連携や他団との交流、地域内外での様々な団体との積極的な交流など、より一層幅と深みを持った活動を心がけることが大切です。また、スポーツだけにとらわれずボランティア活動などにも積極的に取り組んでいくことが、これからのスポーツ少年団には必要なのではないでしょうか。



『シモンは我が家の長男!』

受入家族 八 嶽 美紀子

Wカップで盛り上がった6月。にわかサッカーファンの私も日本の試合に興奮しながらテレビにかじりついて応援し、決勝ではドイツ対ブラジルの日本で最後の試合も本当に感動のうちに終えていた。

そうこの頃、ある会議の中で、日独同時交流受入事業の話を上の方で聞き流していた。すると2、3日後、知人より引き受けてみたらと声をかけられた。しかし、我が家は4月から私と主人との2人暮らし。まして、夫は夜勤で夜は殆どいない状態。そんな私達が引き受けて失礼があつてはと、とてもそんな気持ちにはなれなかった。この話を仙台にいる息子にしたら、「え、何それ?ホストファミリー、我が家に外国人……。おもしろい。」と、興味津々の様子。そんなこんなで家族会議……。結果、一生に一度あるかないかのこの話、引き受けてみようかとまとまった。でも私の心は複雑。興味だけで引き受けていいのかな……。と。チャレンジ精神旺盛な私が一番躊躇していた。

8月5日、とても暑い夏。我が家に「シモン」20歳の好青年がやって来た。2日目、息子の母校で、弓道を体験した。夢中になって弓を射る姿はとても様になっていた。また、的中率も良くびっくりさせられた。



その日の夜は、弓道の話で盛り上がり、私も身振り手振りの簡単な英語での話に花が咲いていた。我が家に長男が帰ってきたようなこの日は、息子も兄と接しているかのように2人で買い物に出かけたり、ゲームをしたり、車の話をしたりと私にはわからない会話を夜遅くまで楽しそうにしていた。翌朝は私も息子2人を起こすようにシモンを起こすとかわいい返事が部屋から、「ハイ。」

やっぱり長男が帰っていると勘違いする程だった。その日の夜は剣道と書道を体験させた。一生懸命取り組む姿勢は感心するばかり。また、大富剣道教室の子供達もいつも以上に大きな声で練習に励んでいた。子供達がシモンに教える姿に言葉の壁なんてないと思った。

暑い夏のこの一週間はあっという間に過ぎ、私達家族にとっては一生心に残る思い出と確信している。また、シモンにとってもきっと忘れられない日本の生活だったのではないと思う。息子の後押しがなかったらこのような素晴らしい機会を逃すところだった。本当にありがとう。See you again シモン!

日独同時交流派遣

イツヒ、ピン、ザット
一腹いっぱい

小国町 廣川 由香

この夏、私は日独同時交流派遣団員としてドイツに行ってきました。出発前、初めての海外ということでドキドキ、ワクワクした気持ちと、ホームステイに慣れるかという気持ち、受験生というプレッシャーなど不安な気持ちでいっぱいでした。

ドイツのフランクフルトに着いてから2、3日後、気候などの変化から私は体調を崩し熱を出しましたがそのまま地方プログラムへ移動することになりました。その状況でホストファミリーと会い、しかも英語でその状況を説明しなければいけません。何とか具合が悪いことを説明するとみんなで優しくしてくれてファミリーにうちとけることができました。すると安心したのか、次の日にはすっかり元気になり活動しました。

私はドイツに行つてすぐ、自分自身の「目標」を持つとうおもっていました。そこで決めたのが「ドイツ満喫」です。もちろん後悔したら満足できないので積極的に、自分を出し相手を知らうと思いました。この心がけがあつてか私はこの24日間、本当に充実、また満足して生活することができました。この派遣を支えてくれたみなさんにも感謝の気持ちでいっぱいです。

私はこの体験で得たことはいっぱいあります。自信を持てるようになったし考えも広がりました。国境を越えた友達を持ち、彼らと生活していくにつれ、私はもっと知りたいもっともっと勉強したいという気持ちが生まれ、大学に入ったら留学したいと思っています。

私は自分でやりたいと思っていることは親の協力を得て今までどんなこともやらせてもらってきました。しかし、やるからには感謝の気持ちを忘れず極めることが一番大切だと思います。このような意識を持った人たちが集まったのが東北IIグループで一緒に悩み、話し合い向上できたことが私の一番の収穫物です。

私はこの体験を糧にくんぐん成長していくつもりです。大空に翔出したところだと思います。これからおこる事もどんどん吸収したいです。今は、来年みんなに会えることを楽しみに頑張っています。それでは、アウフ・ヴィーダーゼーン (さようなら!!)



第25回 全国スポーツ少年団剣道交流大会
● 出場チーム紹介 ● 六稜剣士会

六稜剣士会

早坂 俊作

樹氷とスキーで有名な蔵王山を南に仰ぐ、山形大学教育学部附属小学校の生徒で構成しているのが我が「六稜剣士会」です。

蔵王おろしを胸に受け、指導者四名、剣士十六名体制で、礼節と融和を大切にされた指導方針のもと剣士たちは明るく、楽しく、一生懸命剣道に励んでいます。

この度「第二十五回全国スポーツ少年団剣道交流大会」が本県で開催される記念すべき年に、本大会に出場できることを非常に光栄に感じています。本大会の予選会に出場したのは今回が初めてですが、予選会では六戦全勝で出場権を得ることができました。本大会でも予選会の勢いに乗って、全国の精鋭を相手に悔いの残らないよう全力を尽くし、小学校生活最後の試合を有終の美で飾りたいと思います。



地域交流促進事業

真室川町スポーツ少年団
事務局 佐藤 亮司

十二月八日、真室川町民体育館において「まむろ川ドッジボール大会」を新庄・最上地区より十六チーム、約三百五十名の参加を得て開催しました。

四ブロックに分け、リーグ戦を行い、ブロック優勝チームが決勝トーナメントに進出するという形式で大会を進めました。一試合五分間という短い時間でしたが、選手たちはコートが狭く感じられるぐらい元氣よく走り回っていました。また、十二月ということもあり雪の舞う寒い日でしたが、選手はもちろん監督・コーチ、応援の父兄の方々もまったくそれを感じさせない熱い試合を繰り広げてくれました。

結果は、今年ドッジボール全国大会出場を果たした、釜淵スポーツ少年団が見事優勝し、実力を見せつけました。

今回の大会を通して、子どもは指導者・親の言動を見て育つものだということがよく分かりました。指導者、母集団の質の向上が大変重要になってくると感じられました。

団員間の交流だけでなく指導者間の交流もできたと感じています。ご協力いただきました関係者に感謝を申し上げお礼をいたします。



ジュニア・リーダースクールに参加して

明德女子バスケット部 倉兼理佳子

今回、このジュニア・リーダースクールに参加して、リーダーとしてすべきことをいろいろ学びました。今まで私は、中学生になってからもスポーツ活動ができるということ、そんな深くは考えていませんでした。だから、練習も時々しか行っていないが、行っても指導者の言うとおりに動くだけでした。しかし、この三日間の研修で、長岡さんからリーダーというのは小学生をしっかりと指導するのはもちろん、スポーツを楽しむことの大切さなどを教えてもらい、決して軽く考えてはいないことに気づきました。そして、遠藤さんが「SPORTS」の意味を教えてください、スポーツは楽しむものだというのを改めて実感しました。その後の話し合いでも、リーダーとしてやることを班のみんなと話し合い、「リーダーは技術を教えるだけでなく、時間を守るなど、生活面のことも他の人達のことを考えて行動する。」ということができたので、私も帰ってからきちんと練習に行つて小学生をしっかり指導して、みんなのことを考えられるリーダーを目指してがんばりたいと思いました。この三日間、リーダーの役目を教えてもらい、班の人と協力して自分達でレクリエーションをして、協力の大切さが本当に分かりました。



最後に、このリーダースクールを進めてくれたリーダー会のみなさん、指導者の方々、他にサポートしてくださった方々、本当にありがとうございました。とても楽しくて勉強になった三日間でした。



第三十八回 山形県 スポーツ少年大会

第三十八回山形県スポーツ少年大会事務局
置賜教育事務所社会体育主事 新藤 伸之



大会を実施するにあたり、自然の家の方々をはじめ、東南置賜支部役員の方々、指導者、リーダー会の皆さんに支えられ、大会を無事に終了することができました。ことに、厚く御礼申し上げます。

第三十八回山形県スポーツ少年大会は、県内各地からスポーツ少年団員七十名の参加により、山形県飯豊少年自然の家で開催されました。参加した団員の多くは、初めて会う仲間ばかりで、はじめは緊張していた様子でしたが、時間が経つにつれて仲間意識が芽生えていきました。活動内容については、仲間づくりやゲームやクラフト製作、追跡ハイキング、野外炊飯やキャンプファイヤー等を実施しました。どの活動においても「楽しかった」という感想がありました。中でもクラフト製作では、初めてのごぎりやなたを使うという団員が多く、「思い出に残った」という感想や、追跡ハイキングや野外炊飯では、仲間と協力することの大切さを実感している様子でした。

大会運営については、県リーダー会の協力をいただき、スムーズに大会を進行することができました。追跡ハイキングやキャンプファイヤーでのリーダー会の存在は大きく、リーダー会の想像力には指導者も学ぶべき点があったのだと思います。また、参加団員との年齢の近いリーダー会は、身近な目標となっていた様子でした。

市町村の動き

南陽市

南陽市スポーツ少年団は、現在二十六単位団、十一の競技で厳しくも爽やかな汗を流しています。いづれの団においても、毎週定期的な活動の他に他市町や隣県の団を招いての交流大会を開催するなど、積極的に活動を行っています。隣県との交流大会は、子供達の体力・能力の向上はもとより、指導者の相互交流も図られており非常に有意義なものとなっております。また、社会性豊かな青少年の育成を目指し、スポーツ活動だけでなく、ボランティア活動やパーベキュー・芋煮会など季節に応じた独自のイベントを行っています。

団員の益々



天童市空手道少年団
スポーツ少年団
後藤 遥

「目標」

私が空手を始めたきつかけは、兄が空手を習っており、幼稚園の友達からも誘われたからでした。私が好きで習いたいと思って始めたわけではありませんでした。道場に通ったのは冬で、はだしの練習がいやになったりしました。小学校に入ってからいろいろな大会で三位に入ることができました。私は学校で背が小さい方なのでいつも対戦する人は大きい人ばかりでした。大きい人から負けると悔しくなり今度は絶対勝つてやると思い家でも練習をがんばりました。五年生の県大会の時は、練習したおかげで「形、組手の両方で優勝することができました。その時は本当にうれしくてつらかった練習のことは忘れてしまいました。五年生と今年六年生になってから県代表となって全国大会に出場しましたが、どちらも一回戦で負けて



スポーツチャンバラ
東根スポーツ少年団
工藤 拓斗

「ぼくとチャンバラ」

ぼくは、四年生のころからチャンバラを習いました。ぼくが習った三年間の中で一番の思い出は今年の県大会のことです。今までの最高は四位だったので、今回は三位を取りたかったです。それだけではなく、今までは運で勝ってきたみなので、三位を取るのとはとても大変なのです。取れるか取れないか心配しながらも大会が始まりました。ぼくは、その大会が始まる時とても緊張しました。だけど、いざ自分が試合に出るとなると緊張

しまいました。悔しくて泣いてしまいました。来年中学校に入学しますが、空手部はありません。でもこれからは道場の先生から色々なことを教えてもらい、勝てなかった全国大会で優勝することを目標に空手を続けたいです。

しません。まずは、小刀の部ではなくは、足を打とうとしたけど打てずに負けてしまいました。だけど、ぼくは、「次がある！」と思って長刀の部に出ました。そこでは準決勝までいってそこで負けてしまいました。くやしかったです。だけど、次の三位決定戦で勝てば三位を取れるのがんばって三位を取りました。初めてのメダルだったのでうれしかったです。だけど二刀流の一輝君とあたり負けてくやしかったです。そこで大会は終わりました。次の大会は、三月にいつものメンバーでやるので一位を取れるかもしれないのがんばります。



上山剣道
スポーツ少年団
菅原かずさ

「お父さんを追い越したい」

「剣道の練習を見に行ってみるか。」と、私は一年生の時に、お父さんに言われました。練習を見に行ってみたら、「厳しそうだけど、

やってみようかな。」と思いました。その時からスポーツ少年団で剣道を始めました。

お父さんも、小学校の時から剣道をしていて、家には金メダルや賞状がたくさんあります。お父さんが選手宣誓をしている写真もあって、私は、「お父さんはすごく強かったんだなあ。すごくカッコいいなあ。私もお父さんのように強くなりたいなあ。」と思いました。

剣道の練習は、週に二回あります。初めに準備運動をし、次に素振りや百本くらいします。その後、面を着けてけいこします。夏は暑く、冬は寒い。あざもできるし、体育の時間などで走ったりするよりずっと疲れるけど、新しい技を教えてもらえるのでうれししいし、がんばればがんばるほど試合でもいい結果につながります。

これまでの試合で、金メダルをもらった時、お父さんに少し近づけたように感じました。私は、これからお父さんや先生にいろいろな技を教えてもらって、剣道の練習をがんばって行きたいと思えます。そして、中学校、高校に行っても剣道が続いて、お父さんより強くなりたいと思っています。

「僕の夢」



沼田バドミントン
スポーツ少年団
眞見 和貴

僕は、四年生の時に沼田バドミントンスポーツ少年団に入りました。最初はルールもラケットの握り方も分かりませんでした。監督やコーチの指導により、だんだん出来るようになっていきました。四年生の時から大会にだしても一回戦で負けてしまいました。大会に何度か参加する度にだんだん勝てるようになってきました。五年生になってからの大会で初めて二位になりました。僕は、初めてバドミントンの大会で取った賞

「お前が、頑張った証拠だ。次は一位を取れるように頑張れよ」と言われました。僕は、その時嬉しくなりました。僕は、その時嬉しくなりました。六年生になってからは賞を取ったり惜しい所で負けたりでした。僕は来年から中学生です。僕は、もつと体を鍛えて先輩にも負けない選手になってみんなを驚かせたいです。

僕のこれからの夢は、高校までバドミントンが続いてインターハイまでいきたいです。



野球の目標



米沢南部
野球少年団
佐藤 光

ぼくが、野球を始めたのは、一年生のころです。きつかけは、兄が野球をやっていたし、ぼくも野球が大好きだったから入団しました。

最初は、ボールを怖がっていたけど練習を重ねていくと、どんどん上手になっていったし、だんだんボールに慣れてきました。友達とも仲良くなってきました。練習は毎日あって大変だったけど、いっしょうけんめいがんばってきました。何年も練習して、六年生になりました。そしてキャプテンをまかせられました。でも、ちゃんとチームをまとめられるか心配でした。レギュラーにもなり、いろいろな大会に出て勝ち上がっていき、一年生からの目標の全国大会までできました。試合をしてみると完敗でした。とてもくやしかったけど、とてもいい勉強になったしよくここまでできて、すごいなと思いました。

ぼくがこれまで野球をしてこれたのはチームの協力があり、そして試合に勝つ喜びがあったから。ぼくは、これからも、野球を続けていきたいし、目標をいつも持ち、その目標を達成するようにがんばっていききたいと思います。



小国町叶水
スポーツ少年団
山口 佳織

わたしが入っているスポ少は、人数が少なく、一つの種目だけでなく、いろいろなスポーツを楽しんでいます。その中で、わたしが一番がんばったのは陸上競技です。

わたしは、小さいころから走るのが大好きで、マラソン大会などにも出ていました。

五年生の時に、町の大会で初めて走りばとびに挑戦してみたら、新記録で一位になりました。一位になったのは、一年生の時以来だったので、とてもうれしかったです。

今年は、地区の大会で一位になり、県大会まで行くことができました。県大会では、自己ベストを出せましたし、入賞もできました。しかし、それからどうしても記録が伸びず、秋の大会では満足できずとび方ができずに、苦しい思いをしました。

これからは、走りばとびに必要なジャンプ力と、百メートル走の力をつけて、県大会で一位になれるようにがんばりたいと思います。そして、将来は、いろんな大会に出て、できればオリンピックにも出てみたいというのがわたしの夢です。



大IFCインジェルス
スポーツ少年団
菊池 顕大

ぼくが、スポ少にはいったのは二年生の時です。ぼくが、はいたきつかけは、サッカーが好きだったからです。ぼくが、三年生の時DFで試合にできました。まだ、まだ下手くそでした。最初は、サッカーのルールなんて全くわかりませんでした。でも経験していくうちにわかってきました。五年生になり、キーパーになりました。六年生と五年生はほとんどいなく四年生、三年生が、いっぱいいました。去年は、六年生のおかげで自分ではまあまあいいところまでいきました。今年、ぼくは、FWのポジションでした。今年の試合で、ぼくは五年間サッカーをやったの初ゴールをきめました。六年生最後の試合、杉山杯では、一点も入れられず全敗。すごくやしかったです。今度は、フットサル。フットサルでは、優勝したいです。来年は、六年生がいっぱいいるので期待できそうです。

私は、小学校三年生から「朝日サッカースポ少」に入団しました。そして、その時から私には「サッカー」に対しての夢がありました。それは、「男女かまわずサッカーをしてもらいたい」ということでした。入団する前、「女がサッカーするなんて違和感あるな」と思っていたけど体育でサッカーをすることで女子がすることに違和感がなくなりました。そして今ではサッカーが大好きになりました。やればやるほどおもしろいです。試合で勝ったりしたらうれしいし、負けたら、「次は、ぜひ対勝つんだ。」という気持ちがわいてきます。今では「熱けつ」になってきたような感じです。

だから今度は、みんなに、「サッカー」の楽しさをお伝えたいです。今では少しずつ体育で、友達に楽しさを教えています。それで、「おもしろいね」という声も少しずつ聞こえてきます。だからもつて「サッカー」の楽しさを教えたいです。そして、女子の中でも、サッカーをする人が増えればいいと思います。やってみませんか？サッカーを。それが私の今の夢です。



朝日サッカー
スポーツ少年団
上野 尚未

ぼくの夢は、当然、プロ野球選手です。ぼくがスポ少野球に入ったのは三年の時でした。その時は上級生のみんながかっこよく見え、「ぼくもあのようなプレーヤーになりたい」と、いつも思っていました。

六年生になり、酒田選抜チームの一員に選ばれた時は、とてもうれしかったです。選抜に集ってきた選手は、みんなうまい人ばかりでした。

ぼくはそこに入ってから変わったような気がします。まずは、努力をすることを学びました。いろんな大会でレギュラーを取りたい、ということしか頭になく、いつも三回の素振りをして、手はまめだらけでした。あきらめそうになった時は、チームの団長や監督、コーチから気合いの入った指導を受け、ぼくもやる気ができました。大会では自慢の声を十分発揮し、みんな一つになり優勝することができました。

酒田選抜に参加してプレーできたことは、プロ野球選手への道の大きな大きな一歩になったと思います。大人になった時、プロ野球選手「朝井」の名が出るように、これからもいっばい努力してプロへの道を歩んでいきたい。



酒田市東平田
スポーツ少年団
朝井 寛輝

酒田選抜に参加してプレーできたことは、プロ野球選手への道の大きな大きな一歩になったと思います。大人になった時、プロ野球選手「朝井」の名が出るように、これからもいっばい努力してプロへの道を歩んでいきたい。

酒田選抜に参加してプレーできたことは、プロ野球選手への道の大きな大きな一歩になったと思います。大人になった時、プロ野球選手「朝井」の名が出るように、これからもいっばい努力してプロへの道を歩んでいきたい。



単位団紹介

中山ジュニア

野球スポーツ少年団

保護者会長 鈴木 喜章

中山ジュニア野球スポーツ少年団は、昭和五十四年、中山町立長崎小学校、豊田小学校二校の児童で発足しました。

現在団員は、小学一年生から六年生まで五十七名、指導者七名で週三回の練習を行っています。野球だけではなく、水泳、スキー、キャンプ等スポーツ全般を通して、子供達の健全育成を目的に活動しています。



チームには「中山ジュニア三つの誓い」があり、元気良く、礼儀正しく、勉強も頑張るの内容で、毎回練習終了後、全員で唱和しています。ここ近年、団員数も増え、団員指導者、保護者一体となった活動が出来るようになり、各種大会等優秀な成績を納めています。特に十四年度は、県大会優勝、東北Ⅱ大会に出場しました。指導者の方々の理解と協力により、スポ少を卒団

しても野球を生涯スポーツとして続けられるような体制も整いつつあり、より一層の団の活性化を願っております。

大江町ミニバスケット

ボール少年団

代表 広野 秀樹

大江ミニバスケットボール少年団の子ども達にとつて、競技を通して感動や礼儀、指導者の方々や団員との出会い、健康な体と保護者への感謝など、沢山のことを経験できることは大変素晴らしいことと思います。

母集団としても、親離れ子離れとか可愛い子には旅をさせるとかいろいろ言われておりますが、どうすればよいか難しい時期です。好きなスポーツで努力している姿を親に見せたり、それを応援したりすることで、親子の信頼も築くことができ、子どもの自立にも役立つと信じております。

本団は今年で二十一年目を迎える団員は左沢小学校の児童女子十五名、男子二十六名です。定期練習会は、月・火・金曜日で七時から二時間。活動内容は、各種大会への参



加や練習試合、他に団員の親睦会や親子レクリエーション大会などをしております。

また、当ミニバス少年団と大江中学バスケットクラブの両方を指導して頂いている方が四人おりますので、私達にとつて大変良い環境にあると思っております。

櫛引南ミニバスケット

ボールスポーツ少年団

指導者 今野 良子

私達、櫛引南ミニバスケットボールスポーツ少年団は、現在六年生四名、五年生四名、四年生五名、三年生六名の合計十九名、そして六名の指導者で活動しています。

平成十年以降より、櫛引町のミニバスケットボールスポーツ少年団は三つのうち二団が合併し、このことにより私達は櫛引南小学校のみ単独で存続することとなりました。今や山形県全体でも少子化の影響を受け、団の体制の再編方向の転換等の選択を問われる状況の中、彼女ら、団員にはどこ吹く風、日々体育館いっぱいにかける回っております。

我々指導員としては、バスやドリブル、シュート等のバスケットボールの基礎をしっかりと身につけさせる事に特に重点を置いて指導をしています。また仲間同志の連携、仲間意識を高める事や挨拶をはじめとする礼儀についてもそれが自

発的に彼女

らから発せられるような雰囲気づくりにつとめています。

最近練習に、ミニバスの卒業生がシューズを持って来てくれたりしています。中学、高校生になってもバスケットボールが、仲間と楽しく体を動かす事が好きでいて欲しい、そう願っています。

余目男子ミニバスケット

ボールスポーツ少年団

代表指導者 工藤 政幸

平成五年、当時はNBAプロバスケットやアニメ「スラムダンク」等の影響で老若男女のバスケ人気

が急上し、子供達や保護者からスポ少結成の強い要望があり、町のバスケットボールが将来発展するために底辺拡大が急務であると判断し、余目第一小学校男子ミニバスケットボールスポーツ少年団を結成しました。また、翌年には女子も結成され、団員総勢五十数名が同体育館で毎週土曜日の練習を行ってききました。

その年、子供達から大会に出場し試合がしたいと熱い要望があり鶴岡田川地区ミニバスケットボール連盟に加盟しました。



その後、

町内の小学校の保護者や子供達から一小以外にもミニバスを創って欲しいとの要望があり町

一本のスポ少を立ち上げることにしました。本スポ少では、三年生はバスケットを好きになる、四年生はディフェンスを覚える、五年生はいろいろなシュートを覚える、六年生は一つ一つのプレーをスピーディーに堅守速攻で頑張るの目標をかかげ、週三回の練習を通して、子供達の友好の場、そして心身を鍛える場として頑張っております。

富長スポーツ少年団

(舟形町) 支部長 奥山 敏巳

富長スポーツ少年団は、昭和五十二年に舟形町スポーツ少年団が発足し、地域で活動を始め、昭和六十二年に、富長小学校四年生以上を対象に、富長スポーツ少年団として発足し、男子は野球、女子はバレーボールと、複合スポーツ少年団であります。

近年は、少子化とスポーツ離れが著しく、団員数が減少してきた



ため、平成十二年から、三年生以上を対象とし、現在は、団員数三十四名（野球部十九名、バレーボール部十五名）で活動しています。



活動内容は、各部ごと週一〜三回の練習、各種大会の参加、陸上大会の参加、他団体との交流を行っております。

本団は、指導者、保護者、地域の方々と共に、一丸となって協力し合い、集団活動の修得（礼儀、マナー）によって、心身の健全な育成と、技術向上に努めております。団員には、明るく、楽しく、元気良く、たくましく育ってほしいと願っております。

高島町トランポリン
スポーツ少年団（高島町）

代表指導者 佐藤 秀一

まほろばの里高島にトランポリンスポーツ少年団が発足して二年がたちました。

初めのうちは少なかった団員も少しずつ増え、現在では幼児、小学生合わせて二十名で活動しています。

週二回（月・火の夜）の練習では基礎基本を大切に練習を中心に行いながら、各自の目標に合わ

せて、新しい技へ挑戦しています。

トランポリンの上では、最初から最後まで、自分一人で戦わなければならない。新しい技に挑むということは、「勇気」と「決断」が必要であり、体を鍛える事以上に、精神面でも多くの事を学ぶことができるスポーツでもあります。



また、親子一緒に練習したり、教え合ったりという事を通して、温かい中にも厳しさのある練習が成果をあげています。最近の各種大会でも、親子共々好成績をあげており、お互いのいい刺激となっております。今後ますます、トランポリンを通し、心身共に柔軟で、かつ忍耐力のある子どもの育成を行っていきたくと考えております。

荒砥スキー
スポーツ少年団

指導者 長川村宗一

白鷹町スキースポーツ少年団は昭和五十七年十月に発足した団体で当町では最も歴史ある少年団の一つです。スキー人口全盛の時期には百二十名を超える団員を抱え各大会や蔵王への研修等に取り組んできました。冬を代表する競技を通して地元のスキー場に親しみ、

体力と精神を鍛え、仲間づくりや将来的な地域づくりにも役立てていきたいという発足当時の思いを引き継ぎ現在に至っています。白鷹スキー場はベアリフト一基と二つのコースがあり、スキーセンターからゲレンデを一望できる格好の施設です。寒い冬を楽しく過ごすことは成長の過程でも大きな意味を持ち、指導者にとっても一緒にいるだけで元気が伝わり、たいへん心地良いものです。一人でも多くの子供達に雪国の楽しさを伝えることができるようにこれからもがんばっていきたくものです。平成十五年度からは夏期にテニスを組み入れながら年間を通して活動を実施し、地域型のスポーツクラブを含めた将来的な姿を模索していく予定です。

明徳ミニバスケット
スポーツ少年団

代表指導者 菅野 祐賢

明徳ミニバスケットは平成元年四月にスタートしました。それまでは、男子の野球のスポ少があり、県大会に出場するなど活躍を

行っていました。現在は、男子の野球のスポ少がなくなり、県大会に出場するなど活躍を続けています。女子はミニバスケットを中心に活動



を行っていましたが、冬はクロスカントリースキーを男子と合同で行っています。一時期三十八人もの団員がいましたが、現在は半分位の団員で週三回の活動を行っています。団の指導者も多くなりまして、保護者会からも色々な面で協力があり非常に勇気付けられています。



団としては、ミニバスケットだけにこだわらずスポーツを大好きになつて欲しいこと、自分に自信を持つようになることが、自分を基本に何にでもチャレンジして欲しいと思っております。三年前からリーダーとして中学生も団活動に参加しています。研修会への参加やジュニアからシニアへと続ける中から、将来的にも団と関われるような輪を作りたいと思っております。

地域の子どもは地域で育てる！そんなすばらしい活動を目指して団員と共に頑張りたいと思います。

山十小クローバーなぎなた
スポーツ少年団（山形市）

代表 阿部 恵集

本団は、愛好会を経て平成十二年に発足し、現在、六年生四名

五年生九名、四年生二名の十五名が、毎週火曜日の夕方に山十小の体育館で練習をしています。十四年度から指導者が三名に増え、選手のリベルに合わせて細かな指導をしていただいております。

週一回の練習ではありますが、指導者の子供達をよく理解した的確な指導により、稽古着も袴も一人で着られなかった子供達が、一年間で心も技も見違えるほど成長する様子がわかります。また、時には、高校での練習に参加させていただくこともあり、そのことが子供達のやる気や技術向上に大変プラスになっています。

十四年度は日本武道館で行われた「全日本なぎなた錬成大会」に初めて参加しました。全国から集まった選手達と試合をして、自分の力を試したり自信を持つたり、日頃の練習の大切さを学んだり、よい経験をする事ができました。みんながなぎなたの楽しさを知り長く続けてくれること、いづれは指導者としてなぎなたを広めてくれることを願っています。





学習コーナー

2002年日独青少年指導者セミナーに参加して

県スポーツ少年団指導者協議会 副会長 遠藤 啓一

今回日独青少年指導者セミナーに参加する機会に恵まれ、国内七名の指導者の方々とドイツ国内を訪問してきましたので、報告いたします。

我々のテーマは『青少年スポーツにおけるボランティア活動について』でした。スポーツを『余暇スポーツ』と捉えているドイツでは、スポーツを生活の一部として捉え、スポーツクラブは地域住民の交流の場として根づいており、スポーツ実技の指導者制度、スポーツボランティア活動に対する特別休暇の制度や補助金支援の制度を国が作り、社会的にスポーツボランティアが認められています。スポーツクラブを中心に若者が自由意志で社会参加できるシステムをつくっているのです。スポーツの中に教育的要素を見出し、青少年育成に活用しようとする

る姿勢を強く感じました。

チューリッゲン州で開催された国内六州のスポーツユエーゲント大会にも参加させてもらいました。運営最高責任者は二八歳の青年で、スタッフも同世代

の若者（もちろんボランティア）でした。彼らは誇りと喜びを持ち、しかも自らの意志で、しっかりと全体を把握しながら数百人参加のイベントを運営し、各州の本部長達も来ていましたが全て彼らに任

せていました。また、ニードーザクセン州のあるクラブは高校生達（実技指導者の有資格者、ボランティア）が、子ども達を指導しているところを見学しましたが、同席の大人は口出しせず、彼らに任せており、若い指導者の発掘と育成を行い、うまく活用している姿に感心しました。スポーツボランティアの実態は日本と大して変わりませんが、社会の捉え方が根本的に違い、社会的にどう認識しているか、どう

マーケティングしているかが全く違っており、上手に環境づくりを行っていました。



我々は、いろんなクラブを見学させてもらいましたが、単一種目のクラブもありましたし、公共施設を利用して借り管理を任されているクラブもありました。そこに地元の人達が勢揃い、スポーツを楽しみながら人生をエンジョイしている姿は実に羨ましく思えたものです。今後、総合型地域スポーツクラブづくりを考える場合、『スポーツ』そのものの捉え方も含めて、もつとオープンな見方が大切であり『社会的タレント（社会性）』のある青少年の発掘・育成・活用という点もふまえ、

実効性ある組織や事業運営を考え

ることが大切であると感じさせられました。リーダー育成も含め、我々スポーツ少年団指導者が、さらなる正しい認識と普及に努め、青少年育成のために努力することがその近道なのかも知れません。若い指導者の活性化マニュアル等の早期作成も望まれるところだと思えます。

今回の研修は私にとって実に身の身に濃いものとなりました。知り得た多くの知識や経験を身近なところから伝えることがご恩返しと考えております。実現させていただき、お世話になった数多くの皆様方に深い感謝を申し上げたいと思います。

県の動き

表彰

社会体育優良団体文部科学大臣表彰
少年ジャイアンツスポーツ少年団
(真室川町)

日本スポーツ少年団顕彰受賞者(団)

功労者

遠藤一郎(山形市)・三宅邦雄(天童市)・村岡寛二(山辺町)・横井輝夫(寒河江市)・森 俊悦(村山市)・栗田保則(金山町)・塚原芳喜(小国町)・児玉文博(白鷹町)・岡本孝勇(朝日村)・阿蘇宣夫(鶴岡市)・高橋勝也(酒田市)

優良団

出羽バレースポーツ少年団(山形市)・上山こまくさスポーツ少年団(上市市)・朝日町柔道スポーツ少年団(朝日町)・葉山剣道スポーツ少年団(村山市)・新庄リトルラビッツミニバスケットボール少年団(新庄市)・米沢上郷野球スポーツ少年団(米沢市)・致芳サッカースポーツ少年団(長井市)・余目第二小学校少女バレーボールスポーツ少年団(余目町)・櫛引西サッカースポーツ少年団(櫛引町)・大山ジュニア野球スポーツ

平成14年度
山形県スポーツ少年団登録状況

平成15年2月3日現在

単位団体(団)	更新			新規			計			指 導 者			計
	更新	新規	計	男	女	計	男			女			
							更新	新規	計	更新	新規	計	
総数	990	49	1,039	16,291	9,135	25,426	4,215	968	5,183	381	132	513	5,690
東部地区	251	8	259	8,811	1,746	5,557	803	234	1,037	80	37	117	1,154
山形市	158	3	161	2,356	984	3,340	479	142	621	50	22	72	693
上市市	24	0	24	368	233	601	84	11	95	11	0	11	106
天童市	47	4	51	717	334	1,051	147	52	199	13	4	17	216
山辺町	16	0	16	192	117	309	49	9	58	4	1	5	63
中山町	6	1	7	178	78	256	44	20	64	2	10	12	76
西村山支部	72	3	75	1,054	589	1,643	285	59	344	22	5	27	371
寒河江市	29	1	30	483	238	721	132	24	156	10	2	12	168
河北町	18	0	18	245	141	386	77	17	94	6	1	7	101
西川町	5	0	5	72	54	126	18	4	22	2	0	2	24
朝日町	11	0	11	118	82	200	30	5	35	2	1	3	38
大庭町	9	2	11	136	74	210	28	9	37	2	1	3	40
北村山支部	108	12	120	1,924	1,047	2,971	517	132	649	37	14	51	700
村山市	32	5	37	668	266	934	131	37	168	7	3	10	178
東根市	41	6	47	719	407	1,126	158	57	215	20	7	27	242
尾花沢市	27	1	28	390	315	705	186	31	217	8	4	12	229
大石田町	8	0	8	147	59	206	42	7	49	2	0	2	51
最上支部	84	4	88	1,497	964	2,461	423	114	547	24	12	36	583
新庄市	30	4	34	574	364	938	116	35	151	4	4	8	159
金山町	6	0	6	181	115	296	67	17	84	3	2	5	89
最上町	16	0	16	222	120	342	86	16	102	5	0	5	107
舟形町	4	0	4	117	91	208	58	10	68	3	3	6	74
奥室川町	9	0	9	155	68	223	42	14	56	5	3	8	64
大蔵町	4	0	4	54	55	109	15	1	16	0	0	0	16
鮭川町	9	0	9	93	59	152	24	8	32	2	0	2	34
戸沢村	6	0	6	101	92	193	25	13	38	2	0	2	40
東部地区	105	5	110	1,986	1,069	3,055	542	125	667	69	10	79	746
米沢市	50	4	54	963	482	1,445	240	51	291	38	4	42	333
南陽市	26	0	26	528	263	791	121	26	147	17	4	21	168
高森町	14	1	15	282	166	448	80	36	116	6	0	6	122
川西町	15	0	15	213	158	371	101	12	113	8	2	10	123
西郷地区	76	4	80	1,308	687	1,995	391	71	462	35	9	44	506
長井市	25	4	29	530	280	810	116	30	146	19	1	20	166
小国町	11	0	11	183	86	269	74	7	81	5	2	7	88
白鷹町	29	0	29	471	233	704	160	32	192	8	3	11	203
飯豊町	11	0	11	124	88	212	41	2	43	3	3	6	49
庄内支部	294	13	307	4,711	3,033	7,744	1,244	233	1,477	114	45	159	1,636
鶴岡市	95	4	99	1,526	858	2,384	347	73	420	32	16	48	468
立川町	8	0	8	118	72	190	34	7	41	3	0	3	44
余目町	17	2	19	250	159	409	51	12	63	4	3	7	70
藤島町	9	0	9	114	89	203	39	2	41	4	2	6	47
羽黒町	10	1	11	137	108	245	38	7	45	3	1	4	49
朝日村	9	0	9	167	130	297	64	8	72	6	0	6	78
櫛引町	19	1	20	250	150	400	77	7	84	13	8	21	105
三川町	10	1	11	158	102	260	56	9	65	1	0	1	66
湯澤町	9	1	10	117	91	208	33	5	38	3	0	3	41
酒田市	67	1	68	1,343	819	2,162	360	72	432	34	15	49	481
渡佐町	18	0	18	191	169	360	52	3	55	3	0	3	58
八幡町	9	1	10	103	103	206	26	6	32	1	0	1	33
松山町	10	0	10	136	105	241	40	8	48	4	0	4	52
平田町	4	1	5	101	78	179	27	14	41	3	0	3	44

少年団(鶴岡市)

各級スポーツ少年団資格取得者

◆認定育成員(少年スポーツ指導員)

本年度は五名の受講希望者がありました。認定育成員は現在約八四名いますが、一市町村に最低一名が配置されるようにならなければなりません。また、認定育成員のない市町村もありますので、来年度は是非受講してください。

◆認定員

平成十四年度は四一四名が受講終了、内認定者は一八五名、二二九名が十四年度未登録のため保留

(★認定員資格は十五年度未登録の場合、資格が消失しますので)

注意ください。

《シニア・リーダーズスクール》

八月二日〜六日 静岡県

参加者

菅野洋(尾花沢市)・菅野良太(長井市)・深澤致(同)・深澤亮(同)・菊地薫(白鷹町)・山田真由美(同)・小南達也(鶴岡市)・福原弘太(同)

《全国スポーツ少年大会》

七月二十八日〜八月一日 三重県

指導者

森和也(川西町)

団員

吉田豊(川西町)・西尾諒(尾花沢市)・星川航(同)

《東北ブロックスポーツ少年大会》

八月八日〜十一日 福島県

指導者

本間清治(鶴岡市)

団員

木村駿(鶴岡市)・斎藤達巳(同)・鱈篤(同)・後藤正知(同)・菅原大聖(同)・大川奈月(同)・加藤裕一(同)・高橋夏樹(真室川町)・川又実子(同)・大類孝之(尾花沢市)・栗原美希(同)・高橋明日

香(同)・山田都茂美(白鷹町)・佐藤香奈(同)・工藤直美(同)・青木恵梨佳(同)

《指導者全国研究大会》東京都

県内より十五名の指導者が参加。



平成15年度 山形県スポーツ少年団事業計画

		事業名	期 日	会 場
種目別交流大会関係	県内	県少年少女スポーツ交流大会(16競技)	9月28日・10月5日・13日	県内各地区会場
	県外	全国スポーツ少年団競技別交流大会 ・サッカー (第27回) ・ホッケー (第25回) ・軟式野球 (第25回) ・バレー (第1回) ・剣道 (第25回) 東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ・軟式野球 ・サッカー ・柔道 ・ミニバスケットボール	7月28日(月)～8月2日(土) 8月8日(金)～8月10日(日) 8月8日(金)～8月11日(月) 3月27日(土)～3月30日(火) 3月26日(金)～3月28日(日) 未定 未定 11月22日(土)～11月23日(日) 2月28日(土)～2月29日(日)	東京都・よみうりサッカー場 滋賀県・県立伊吹運動場 香川県・香川県営野球場他 鹿児島県・鹿児島アリーナ他 福岡県・アクシオン福岡 福島県・未定 宮城県・未定 秋田県・秋田市立体育館 福島県・あづま総合運動公園他
研修関係	県内	認定員養成講習会 (7コース開催) ・庄内(田川)会場 ・最上会場 ・村山(北)会場 ・庄内(飽海)会場 ・村山(西)会場 ・置賜会場 ・村山(東南)会場 体力テスト判定員講習会 少年大会兼ジュニアリーダースクール 市町村スポ少・スポ安研修会 県指導者研修会・日本本部顕彰伝達式 育成母集団研修会 リーダー会研修会	9月14日(日)～9月15日(月) 11月8日(土)～11月9日(日) 11月8日(土)～11月9日(日) 11月8日(土)～11月9日(日) 11月15日(土)～11月16日(日) 11月29日(土)～11月30日(日) 12月6日(土)～12月7日(日) 11月9日(日) 8月8日(金)～8月10日(日) 2月27日(金) 11月15日(土) 未定 未定	小真木原総合体育館 最上合庁・新庄勤労者総合福祉センター 東根市・神町自衛隊体育館 酒田市武道館 河北町民体育館 川西町 山形市江南公民館 東根市・神町自衛隊体育館 置賜支部「飯豊少年自然の家」 山形県スポーツ会館 置賜支部 最上支部 未定
	県外	シニアリーダースクール 認定育成員研修会 (北海道・東北地区会場) (関東地区会場) 認定育成員養成講習会 (前期) (後期) 全国リーダー連絡会 指導者全国研究大会	8月12日(火)～8月16日(土) 9月20日(土)～9月21日(日) 10月4日(土)～10月5日(日) 10月19日(日)～10月21日(火) 11月29日(土)～12月1日(月) 9月13日(土)～9月14日(日) 6月29日(日)	国立中央青年の家(静岡) 田沢湖スポーツセンター(秋田) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) 国立オリンピック記念青少年センター(東京) ホテル海洋(東京)
交流関係	県内	第33回東北ブロックスポーツ少年大会 第41回全国スポーツ少年大会 第7回北海道・東北ブロックリーダー研究大会 第30回日独スポーツ少年団同時交流 (派遣) (受入) 日独青少年指導者セミナーBグループ (受入) 日独スポーツ少年団指導者交流 (派遣) 日中青少年スポーツ交流指導者交流 (派遣) 団員交流 (派遣)	8月8日(金)～8月11日(月) 7月25日(金)～7月28日(月) 11月22日(土)～11月24日(月) 7月20日(日)～8月12日(火) 7月25日(金)～7月31日(木) 5月18日(日)～6月6日(金) 9月～10月(17日間) 10月(10日間) 8月(7日間)	秋田県・岩城町少年自然の家 神奈川県「県立愛川ふれあいの村」 秋田県 ドイツ各地 庄内支部 北海道・青森県・岩手県 全国から12名派遣 全国から10名派遣 香川県
	県外	県スポーツ少年団協議会 県スポーツ少年団本部員会 県スポーツ少年団専門委員会(企画・普及・活動・指導育成) 県スポーツ少年団指導者協議会理事會 県スポーツ少年団表彰式 県スポーツ少年団リーダー会総会/運営委員会	5月16日(金)/2月上旬 5月16日(金)/2月上旬 5月9日(金)/未定 2月27日(金) 3月下旬	山形県スポーツ会館 山形県スポーツ会館 山形県スポーツ会館他 山形県スポーツ会館他 山形県スポーツ会館 未定
会議関係	県内	東北6県体育関係者会議 全国指導者協議会 日本スポーツ少年団委員総会 全国都道府県事務担当者会議 東北ブロック指導者研究協議会 北海道・東北ブロック会議	5月12日(月)～5月13日(火) 6月27日(金)～6月28日(土) 6月12日(木)/未定 6月11日(水)～6月12日(木) 11月15日(土) 2月5日(木)～2月6日(金)	山形グランドホテル 岸記念体育会館(東京) 岸記念体育会館(東京) 岸記念体育会館(東京) 山形県 山形県
	県外			

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等に最適な保険です。

※5人以上のグループでご加入ください。

団体	対 象	加入区分	対象となる事故の範囲	掛 金 (1人年額)	傷害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死 亡	後遺障害 (最高)	入 院 (日額)	通 院 (日額)		
子どもの団体	・中学生以下の子ども ・子どもの保護者 (スポーツの指導者、審判を除く。)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血等) 160万円
	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償 合算で 1事故 500万円を加算 身体・財物賠償 合算で 1事故 500万円 (各免責1,000円)	対象となりません
		AC	団体活動中とその往復中 以外		100万円	150万円	1,000円	500円		
大人の団体	・子どものスポーツ団体の指導者 (B区分での加入もできます。)	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血等) 160万円
	・文化活動、ボランティア活動、地域活動 (スポーツの指導者、審判、ダンス、演習等を除く。) ・老人クラブなど (60歳以上) ・大人のスポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む。) ・危険度の高いスポーツ活動 (アマゾンフットボール、山岳登山など)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 (各免責1,000円) 財物賠償 1事故 500万円 (各免責1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血等) 160万円
		B		800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
		C		1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
D	9,000円	500万円		750万円	1,800円	1,000円				

◆対象となる事故 ○グループ活動中の事故 ○往復途中の事故 ◆保険期間 平成15年4月1日から翌年3月31日まで(申込受付は3月から)

— お問い合わせ —

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 ☎023(642)8321 電話受付時間：午前8時30分～午後5時

(土、日、祝日を除く。)

財団法人 **スポーツ安全協会山形県支部** (山形県体育協会内)